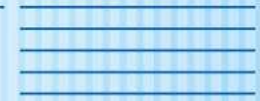


Asahi**KASEI**



旭化成の成長戦略

中期経営計画 “For Tomorrow 2015”

Asahi**KASEI**

2013年7月12日

旭化成株式会社

IR室長 門倉 清晃

証券コード:3407

目次

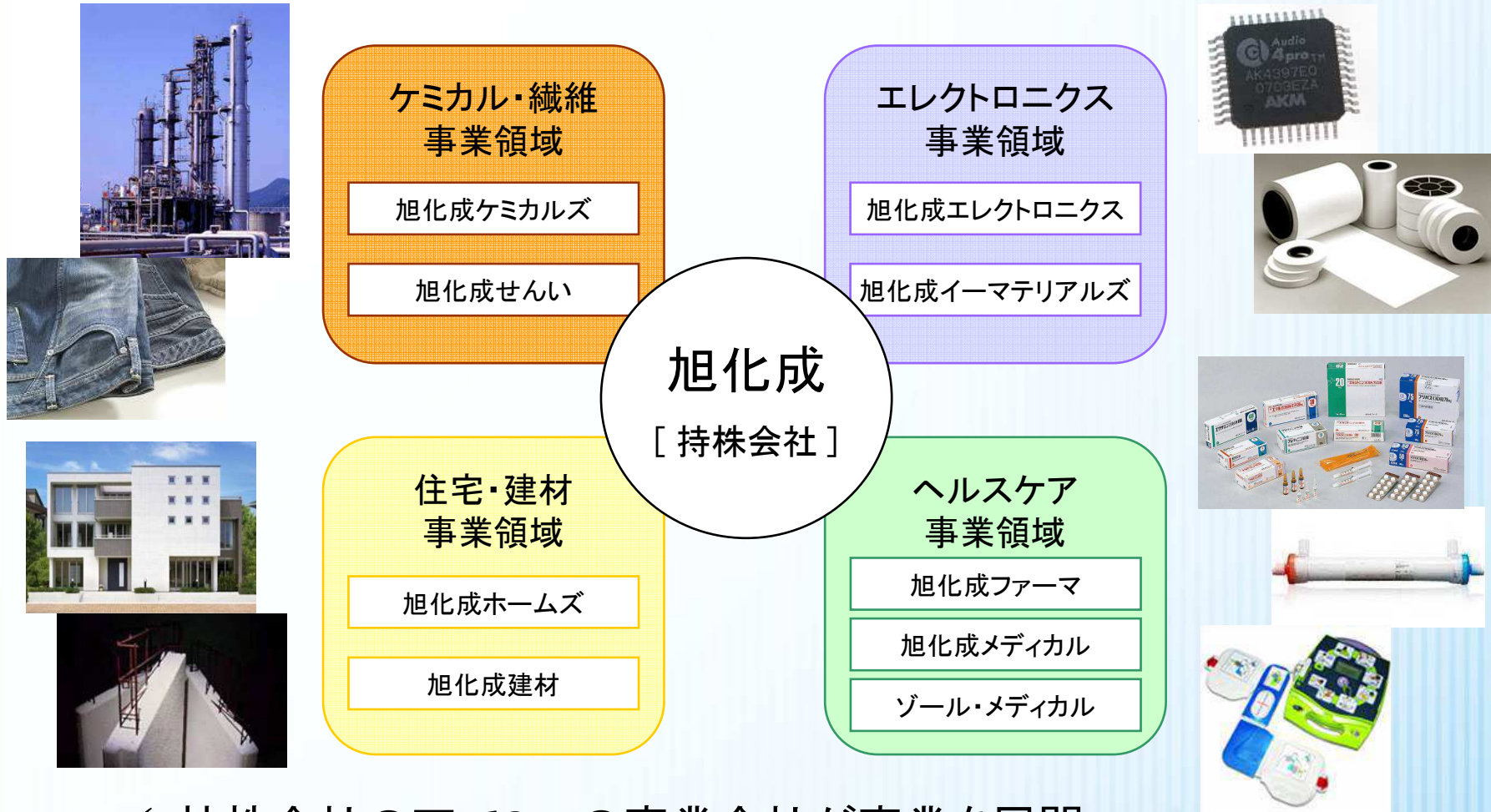
1. 旭化成とは	3-11
2. 中期経営計画 “For Tomorrow 2015”の全体像	12-15
3. “For Tomorrow 2015”の事業戦略	16-27
4. クリティカルケア(救命救急医療) 事業の展開	28-34
5. 株主還元の考え方	35-36

予想・見通しに関する注意事項: 当資料に記載されている予想・見通しは、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

1. 旭化成とは

4つの事業領域を持つ総合化学メーカー

AsahiKASEI



- ✓ 持株会社の下で9つの事業会社が事業を展開
- ✓ それぞれの領域で市場ポジションの強い優れた事業を有する
選り抜かれた多角化ポートフォリオ
- ✓ 住宅事業とLSI事業を持つことが特徴

セグメント別売上高、営業利益

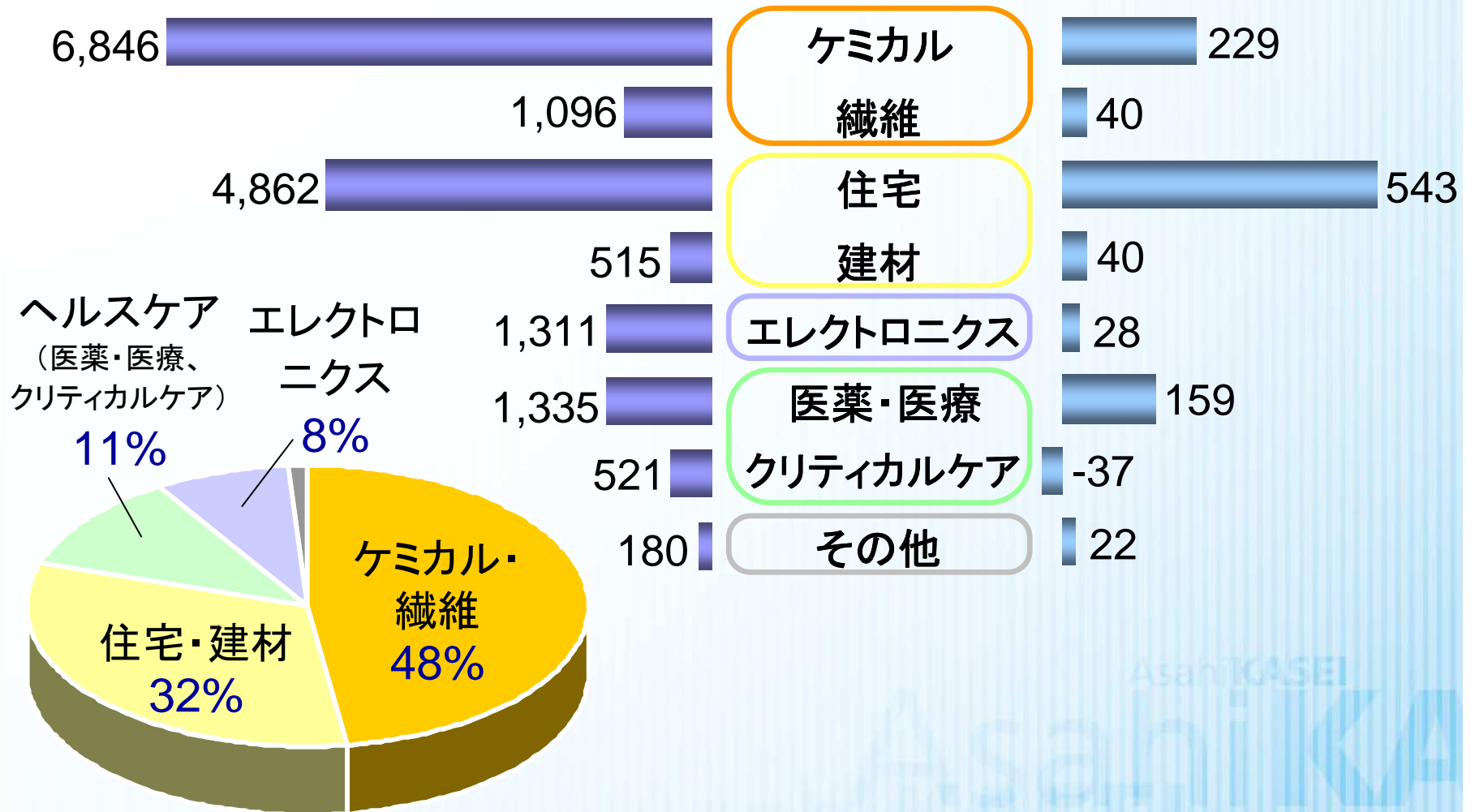
AsahiKASEI

2012年度実績

(単位:億円)

連結売上高 1兆6,666億円

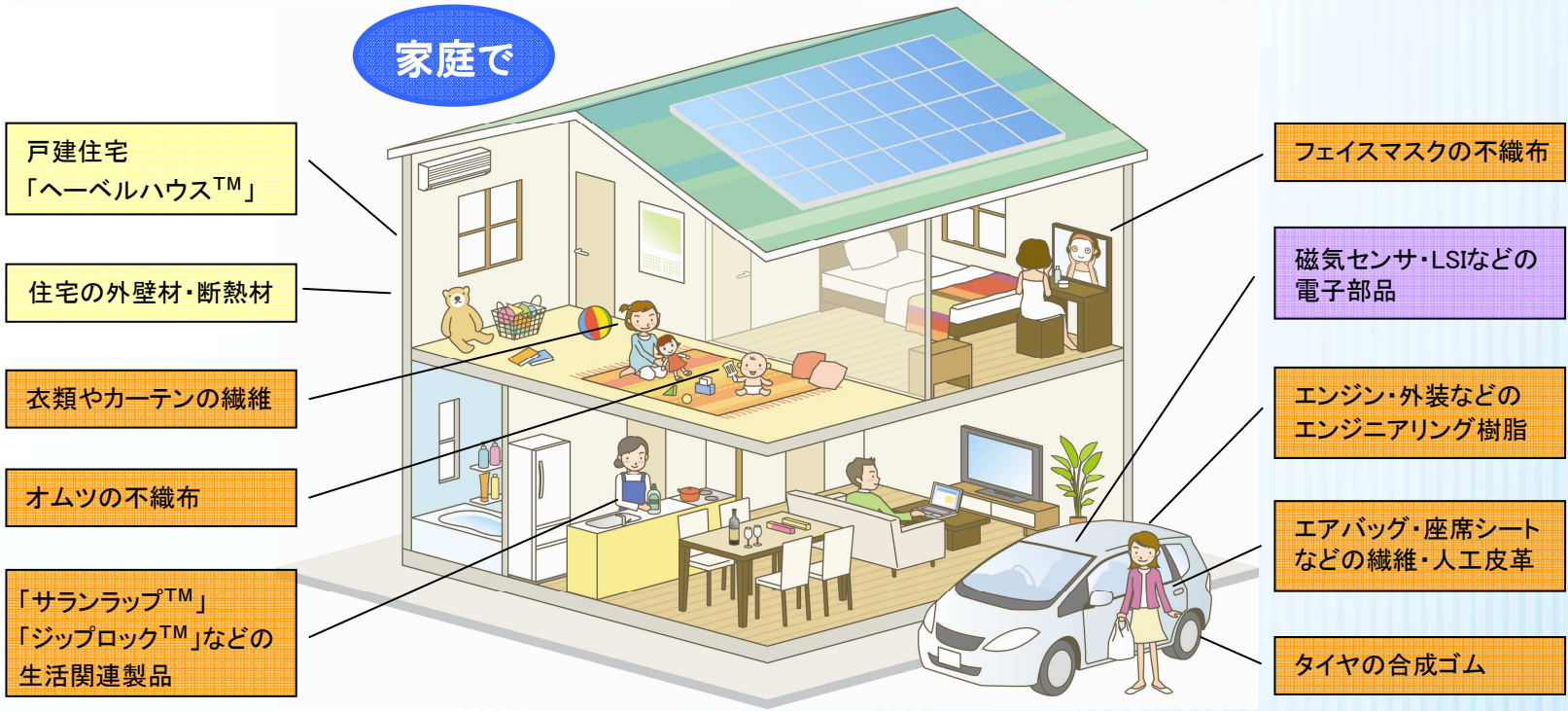
営業利益 920億円



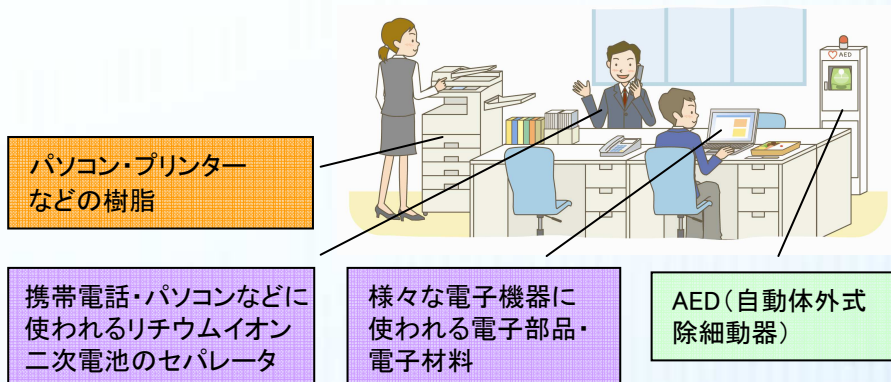
[事業領域別売上高比率]

くらしの中の旭化成(例)

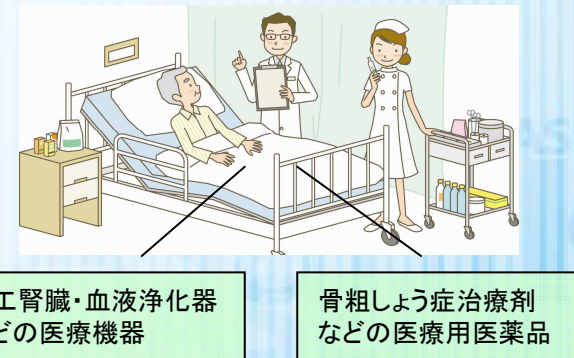
家庭で



会社で



病院で



「人類文化の向上と吾社の使命」

吾々工業家は飽までも大衆文化の向上を念として、
最善の生活資料を最低廉価に然も豊富に給する
ことを以って究局の目的としなければならぬ。

昭和8年7月 野口^{したがう}遵社長(当時)



グループ理念

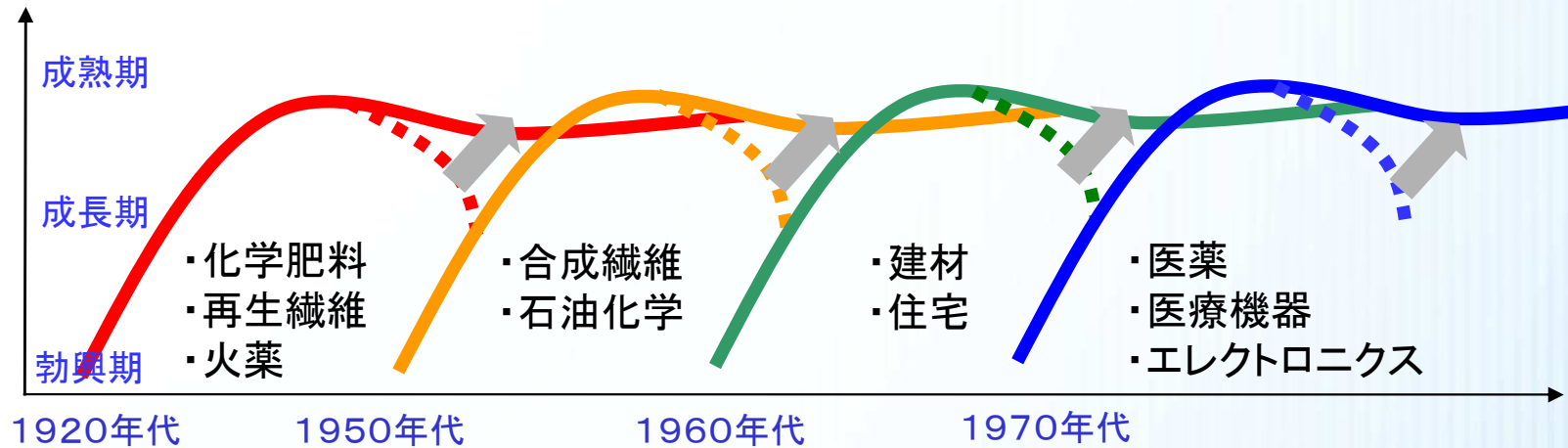
私たち旭化成グループは、
世界の人びとの
“いのち”と“くらし”に貢献します。

グループビジョン

「健康で快適な生活」
「環境との共生」

時代の要請に応える事業展開

AsahiKASEI



時代の要請

生活の基盤確立

生活物資の充足

住生活の質の向上
社会資本整備

便利で快適な
生活

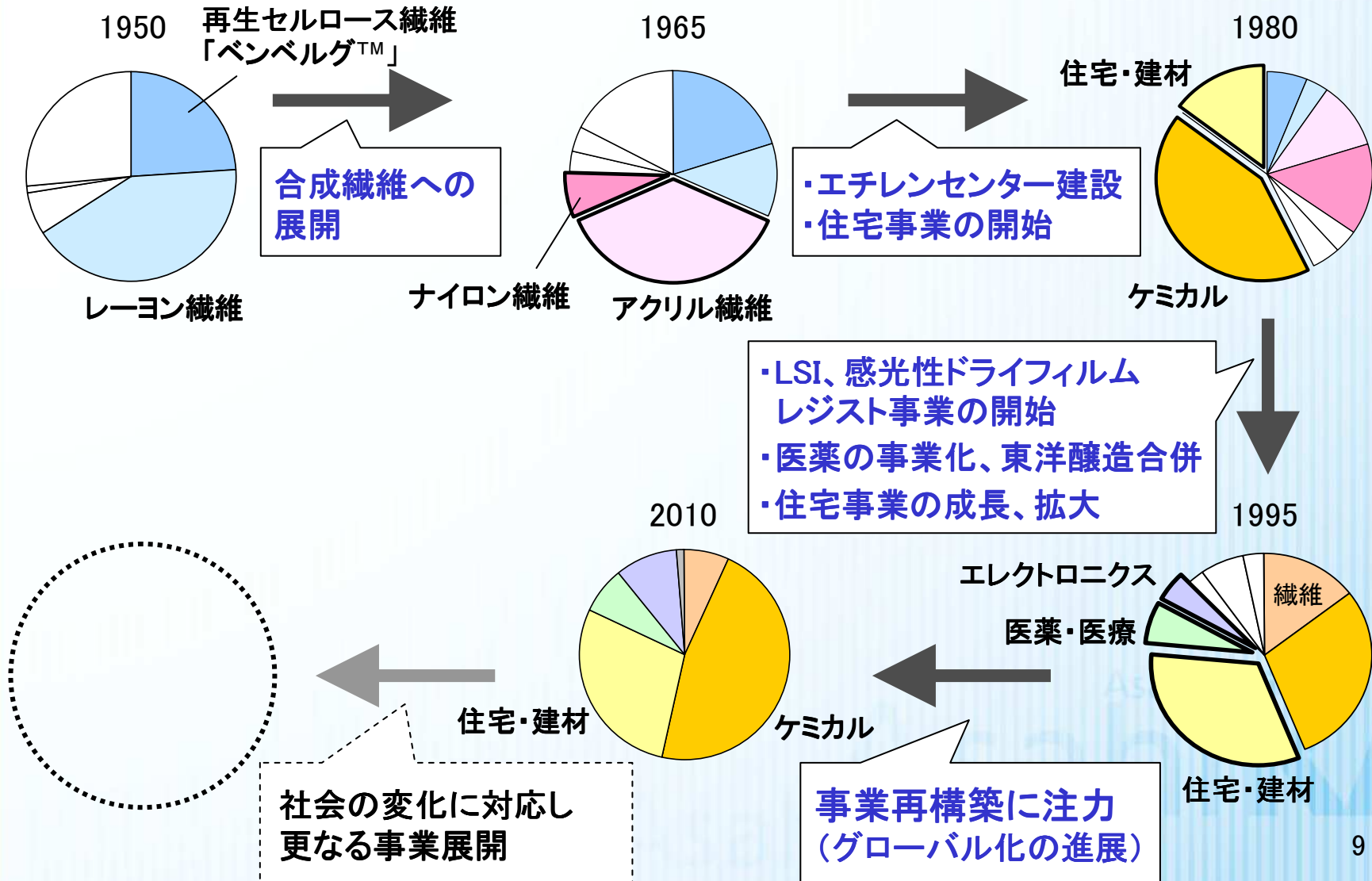
大量消費社会・化石燃料文明・高度成長期

大量生産・
大量消費
文明の限界

時代の要請に対する解決策を提示しながら事業を展開

柔軟に変化してきた事業構成

事業ポートフォリオ転換の歴史(売上高構成)



グローバルな事業展開

AsahiKASEI

✓ 世界で強いポジションを持つ事業群(世界シェアNo.1、No.2が多数)

ケミカル・繊維 : アクリロニトリル 世界No.2

溶液重合SBR(S-SBR)

イオン交換膜 世界No.1

再生セルロース繊維「ベンベルグ™」 世界No.1

エレクトロニクス : リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」 世界No.1

感光性ドライフィルムレジスト

感光性ポリイミド樹脂「パイメル™」 世界No.1

ペリクル

磁気センサ 世界No.1

電子コンパス(方位角センサ) 世界No.1

ヘルスケア : 人工腎臓(透析治療器)

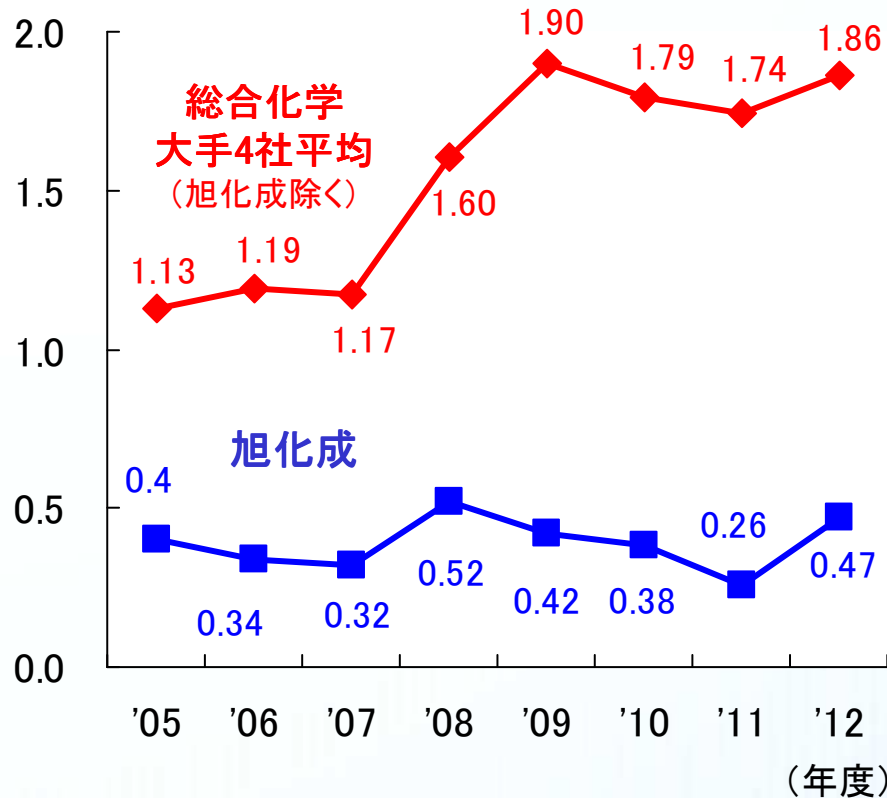
ウイルス除去フィルター「プラノバ™」 世界No.1

白血球除去フィルター「セパセル™」 世界No.1

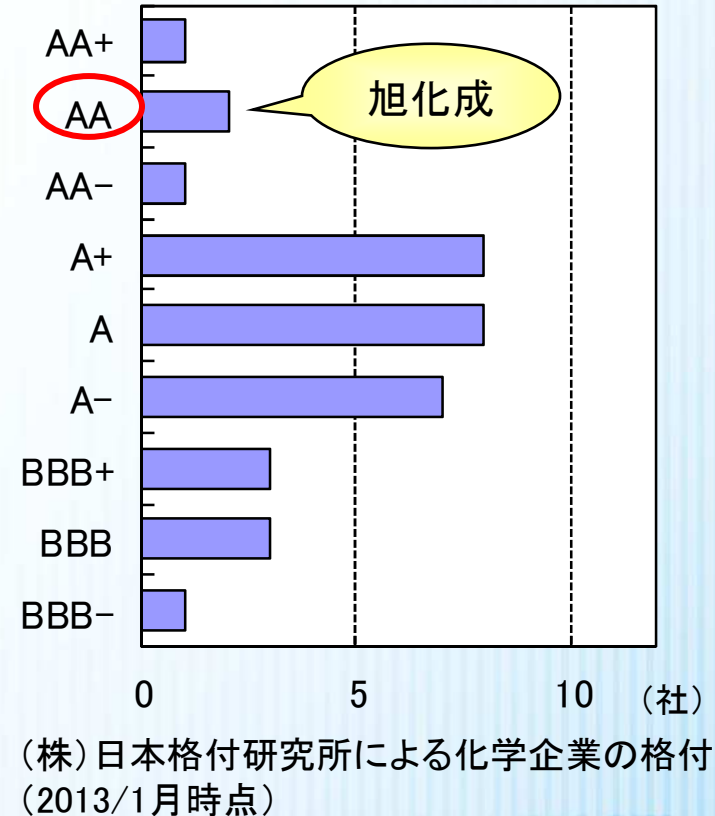
✓ 住宅・建材(内需型事業として展開)を除く海外売上高比率 43.0%
(住宅・建材を含めた全社では29.1%、2012年度実績)

強固な財務体質

D/Eレシオ (=有利子負債÷自己資本)



格付



- ✓ 成長へ向けた投資を可能にする健全な財務体質
- ✓ 格付機関から高い評価を受け、有利な条件で資金を調達

2. 中期経営計画 “For Tomorrow 2015”の全体像

“For Tomorrow 2015”の位置付け

AsahiKASEI



For Tomorrow 2015の骨子

激変する環境の中、原点に立ち返り、世の中に新しい価値を生み出す

✓「健康で快適な生活」、「環境との共生」の視点で、

✓グループをあげて、

昨日まで世界になかったものを提供する

【成長を追求する事業戦略】

(1) グローバルリーディング事業の展開

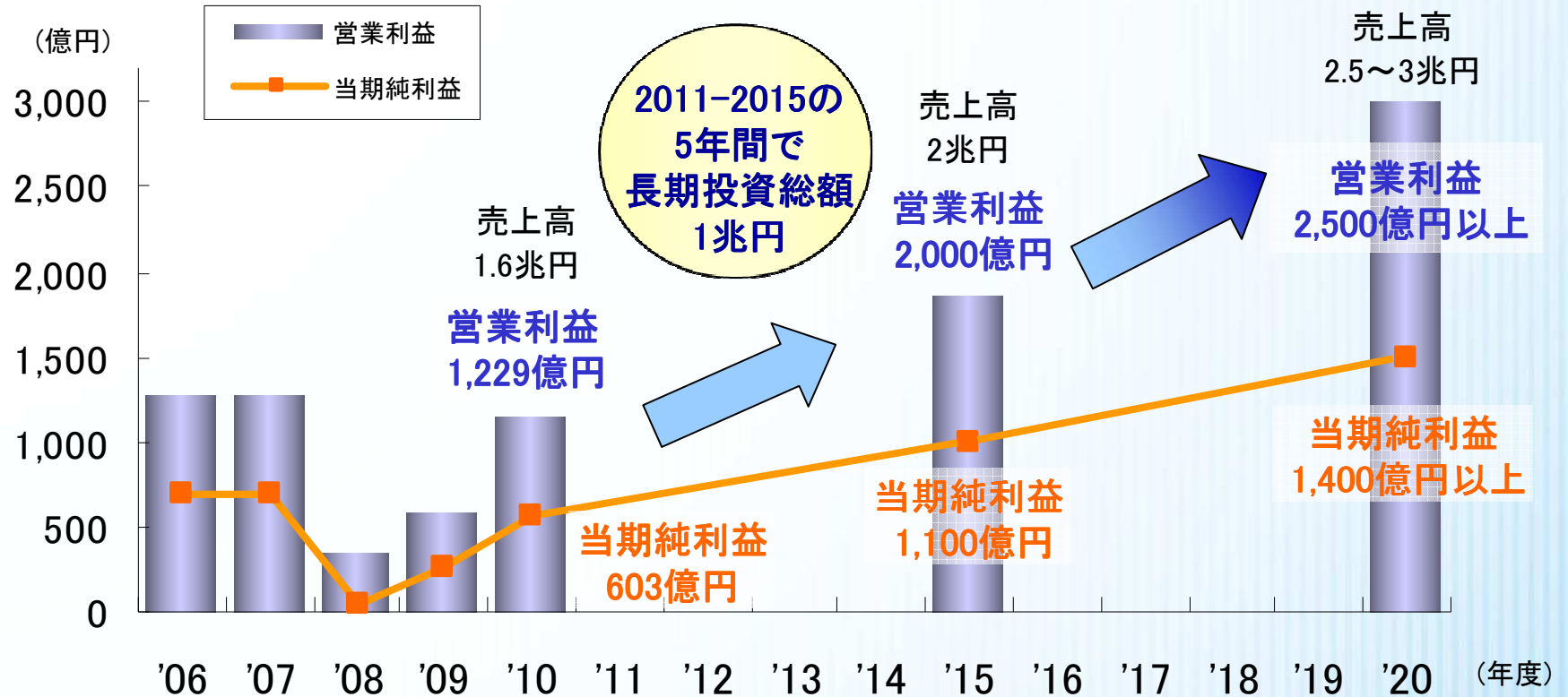
グローバルに競争力のある事業を積極的に展開し、
新興国など世界の成長を取り込む

(2) 新しい社会価値の創出

「健康で快適な生活」「環境との共生」の視点での事業推進に
グループ横断で取り組み、これからの社会の要請に応える

- ① 環境・エネルギー関連事業の拡大
- ② 住・くらし関連事業の拡大
- ③ 医療関連事業の拡大

計画策定当初の目標



ROE*	9%
海外売上高比率	28%
〃 (住宅・建材除く)	(39%)

10%以上
32%
(45%)

*ROE=自己資本当期純利益率=当期純利益÷{(前期末自己資本+当期末自己資本)÷2}×100(%)

- ✓ 経営環境の変化などにより、2015年度の当初目標数値の達成は2016年度以降数年以内となる見通し

3. “For Tomorrow 2015”の事業戦略

(1) グローバルリーディング事業の展開

(2) 新しい社会価値の創出

(1) グローバルリーディング事業の展開

AsahiKASEI

グローバルの成長を取り込める事業を積極展開

- ・アクリロニトリル (AN)
- ・溶液重合SBR (S-SBR)
- ・再生セルロース繊維「ベンベルグ™」
- ・リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」
- ・感光性ドライフィルムレジスト
- ・電子コンパス等のミクスドシグナルLSI
- ・人工透析事業
- ・ウイルス除去フィルター「プラノバ™」 等

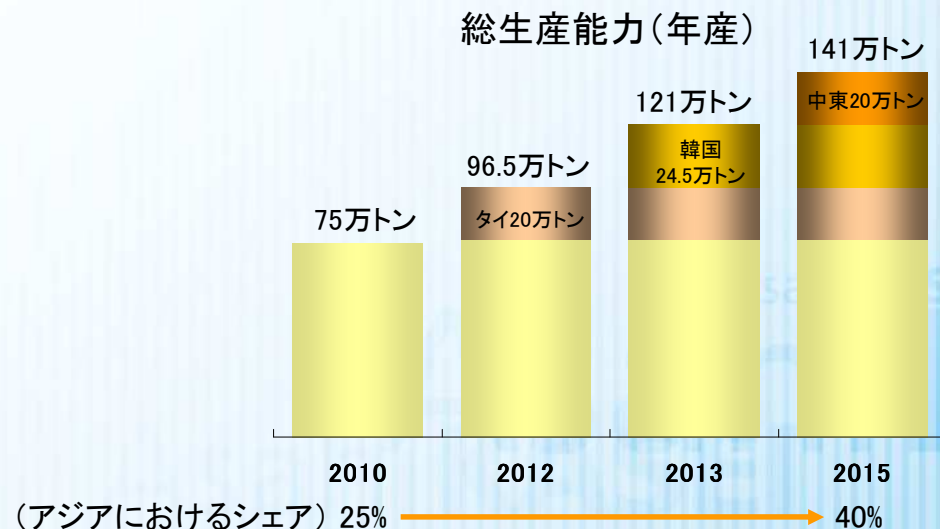


(1)グローバルリーディング事業の展開

アクリロニトリル(AN)

AsahiKASEI

- ✓ セーター・毛布等に使われるアクリル繊維や、家電製品・自動車等に使われるABS樹脂などの原料
 - ✓ 新興国を中心に、着実な市場拡大見通し
 - ✓ 世界一の技術力(触媒・プロセス)を背景に積極拡大
 - ・タイ: 世界初のプロパンを主原料とする革新的プロセス
安価な原料調達で高いコスト競争力を実現
 - ・韓国: 能力増強分が2013年に稼働を開始
 - ・中東: 事業化を検討中
- 世界No.2 → No.1を狙う



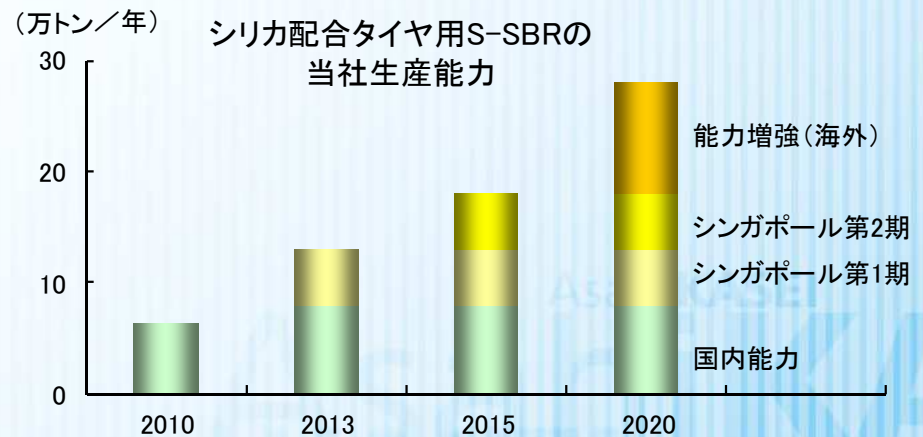
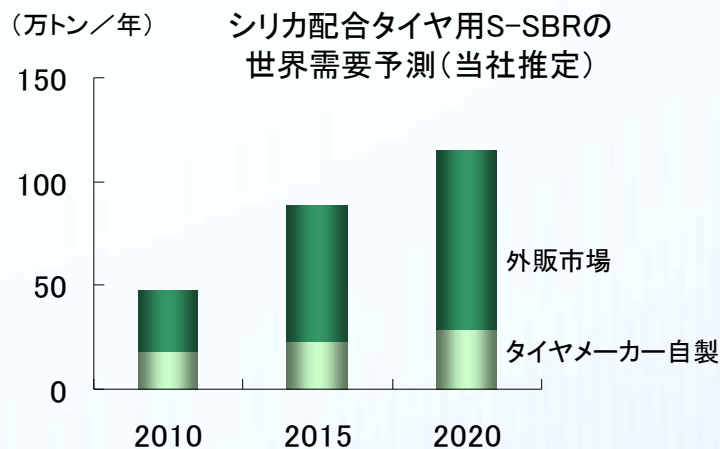
(1)グローバルリーディング事業の展開

合成ゴム 溶液重合SBR(S-SBR)

AsahiKASEI

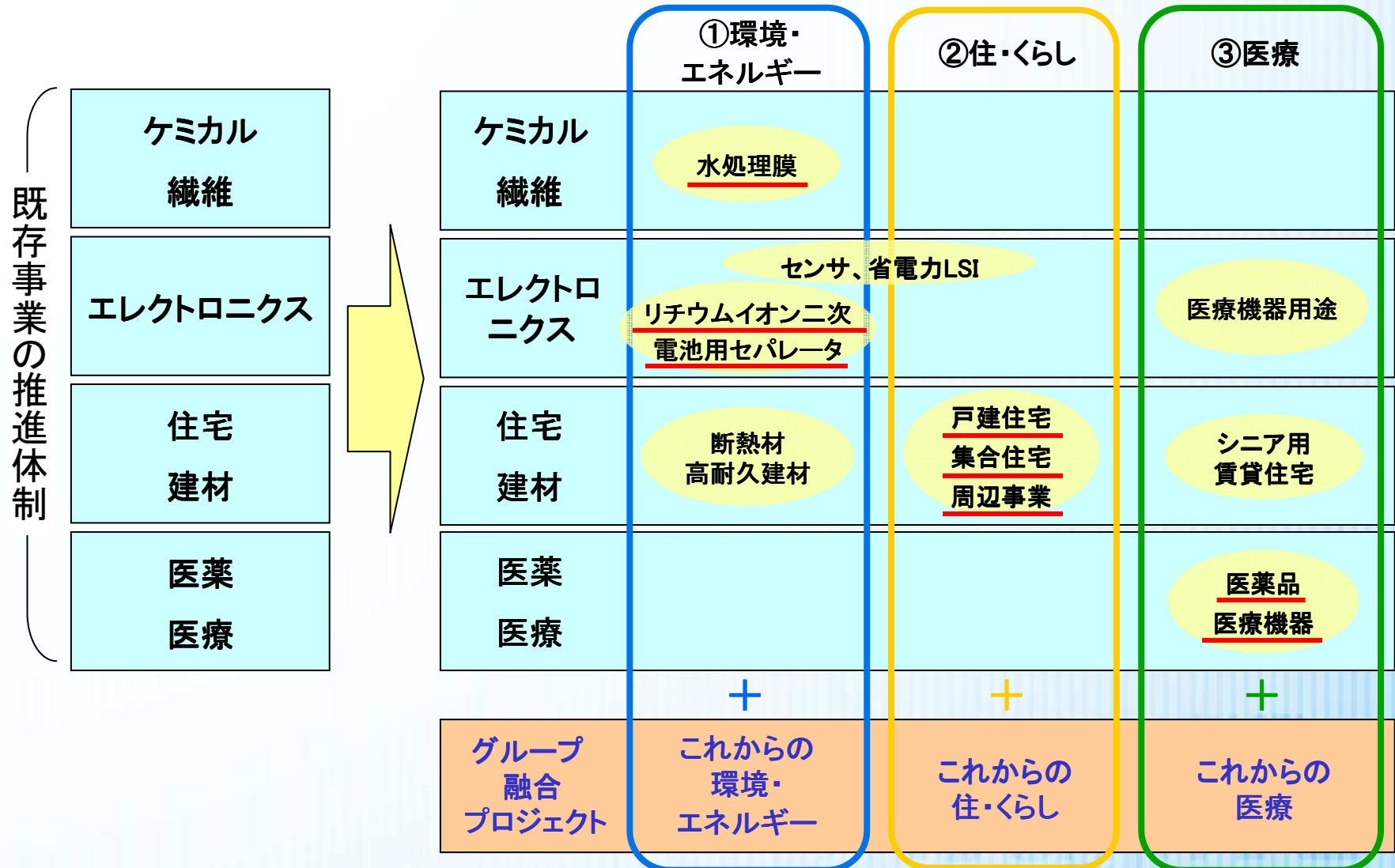
- ✓ エコタイヤ(シリカ配合タイヤ)用S-SBR*でアジアNo.1
- ✓ 相反する「省燃費性能」(転がり性能)と「グリップ性能」(安全性)の両立を実現させる、バランスの良い連続重合法S-SBRを提供
- ✓ 先進国をはじめ、各国で広がりつつあるタイヤに対する環境規制の強化により、今後エコタイヤ向けSBRの需要は大幅に拡大
- ✓ 需要の伸びに応じ、海外を中心に大きく能力を増強(シンガポールで2013年に5万トン/年新設、2015年に5万トン/年増設)

*タイヤのトレッド(接地面)などに使用される。



(2) 新しい社会価値の創出

旭化成グループ横断で重点的に取り組む領域



(2)新しい社会価値の創出

①環境・エネルギー関連事業の拡大:セパレータ

AsahiKASEI

地球環境の悪化、限界に多様な技術で取り組み、未来を切り拓く

✓ リチウムイオン二次電池(LIB)用セパレータ「ハイポア™」

- 携帯電話・ノートパソコン等のリチウムイオン二次電池用セパレータで世界No.1

- ・高度な材料技術と加工技術
- ・多様なニーズに応える品揃え

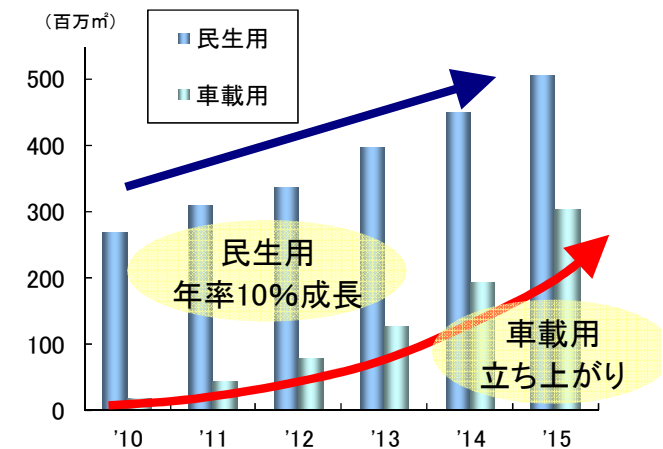
- 当社の技術力、顧客対応力を活かして、今後立ち上がる電気自動車向け分野でもシェアNo.1を狙う

- 急拡大する需要に対応する生産能力を保有

- ・年産約2億m²の生産能力
- ・2013年春に、年産5,000万m²の能力増強
(1系列の生産能力としては世界最大規模)



LIBセパレータ市場(当社推定)

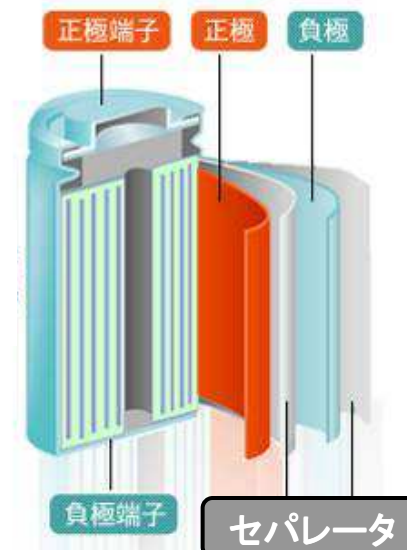
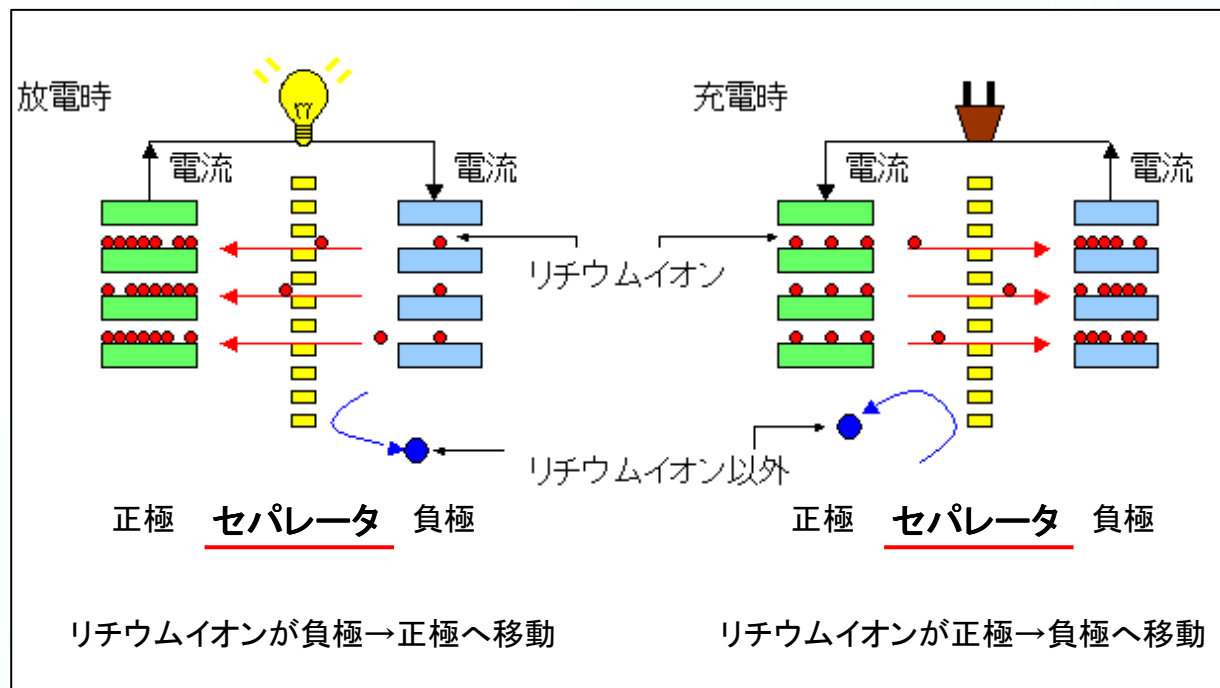


(2)新しい社会価値の創出

①環境・エネルギー関連事業の拡大:セパレータ

AsahiKASEI

リチウムイオン二次電池の仕組み



円筒型リチウムイオン
二次電池の分解図

<セパレータの役割>

- ① 正極と負極を遮断する絶縁膜
- ② 微細孔をイオンが透過し、充放電を可能とする
- ③ 過大電流が流れたとき、発熱により膜の空孔が閉じ、電流を遮断する

(2)新しい社会価値の創出

①環境・エネルギー関連事業の拡大:水処理膜

AsahiKASEI

地球環境の悪化、限界に多様な技術で取り組み、未来を切り拓く

- ✓ 大量水処理用ろ過膜「マイクロザ™」
 - 浄水用ろ過*膜で世界トップグループ、累積シェア22% *UF(限外ろ過)およびMF(精密ろ過)
 - 優れた耐久性・耐薬品性の中空糸膜
 - 北米の上水道規制強化、中国の水質汚染・水不足深刻化等で需要拡大
 - 日本、中国2拠点の生産体制(年産各3万本)
- ✓ 水処理サービス事業
 - 「マイクロザ™」を用いた廃水リサイクル設備を当社が設計、建設、保有、運転し、リサイクルされた廃水を工業用水として供給

<膜の種類と分離対象物>



マイクロザ™の用途例

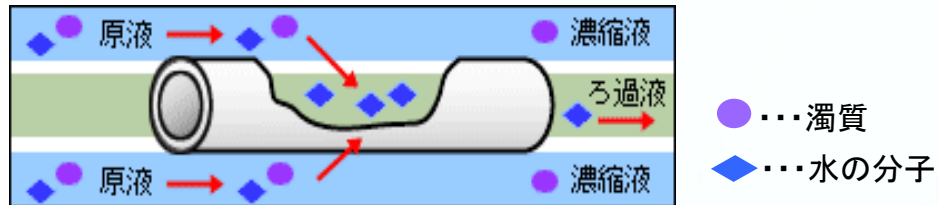
- ✓ 上水道
- ✓ 下水・排水回収
- ✓ 各種工業用水精製
- ✓ 海水淡水化前処理 等

(2)新しい社会価値の創出

①環境・エネルギー関連事業の拡大: 水処理膜

AsahiKASEI

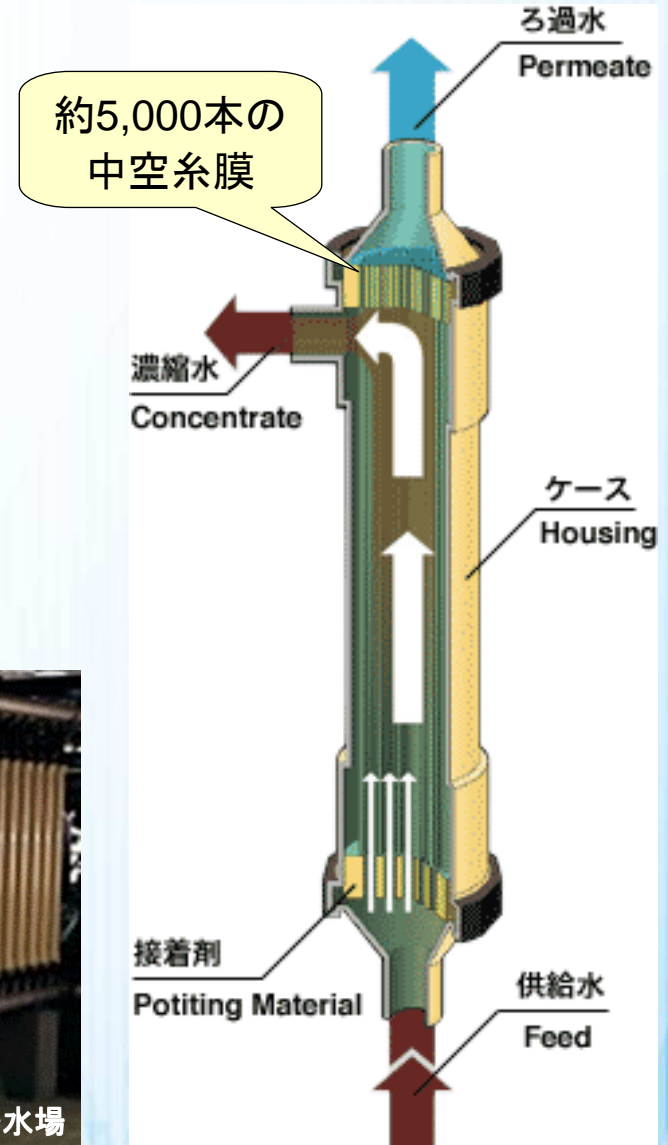
中空糸膜によるろ過の仕組み



(中空糸膜)

(断面)

(表面)



②住・くらし関連事業の拡大

一人でも多くのお客様に一日でも早く、快適な生活をお届けする

✓ 都市型ロングライフ住宅「ヘーベルハウス™」

- 優れた耐震・耐火性能
- 充実したアフターサポート(60年点検システム)
- 3階建て住宅、二世帯住宅のパイオニア
- 新たなニーズに対応する住宅の提案
 - ・子育て支援住宅、省エネ・蓄電型住宅等

✓ リフォーム・不動産事業の拡大

- 省エネ対応リフォーム等の商品提案力強化
- 住民の方々と合意して建築する合意形成型マンション事業推進



③医療関連事業の拡大：骨粗しょう症治療剤

ユニークな製品と技術で活力ある健康長寿社会を作り上げる

- ✓ 骨形成促進作用を有するヒトPTH*製剤「テリボン™」(自社開発)
 - 極めて高い骨折抑制効果
 - 週一回の投与(患者負担軽減)
 - 2011年11月国内発売、好調な立ち上がり
 - ・2012年度売上高170億円
 - 骨粗しょう症国内患者1,100万人以上(潜在患者含む)
 - ・骨折→寝たきり(社会問題)への対応
 - パッチ剤の開発で、より患者様に優しい薬へ

* 副甲状腺ホルモン



アプリケーター

パッチ

③医療関連事業の拡大：医療機器

ユニークな製品と技術で活力ある健康長寿社会を作り上げる

✓ 透析事業の拡大

- 中空糸膜人工腎臓で国内No.1、シェア40%、世界70カ国以上で使用
- 世界的な透析患者の増加に対応し能力増強
 - ・日本と中国に生産拠点、年産3,400万束
 - ・海外での能力増強、販売会社設立を更に推進
- 事業提携等による戦略的な事業拡大
 - ・ネクステージメディカル社(米)との戦略的提携強化(12年5月)
 - ・医療機器メーカー(株)メテクの100%子会社化(10年10月)
- パッケージ提供体制を構築、透析医療システムを本格展開



4. クリティカルケア（救命救急医療） 事業の展開

クリティカルケア(救命救急医療)への 本格参入の狙い

AsahiKASEI

「新しい社会価値の創出」の
ためのグループ融合プロジェクト

(i) これからの環境・エネルギープロジェクト

(ii) これからの住・暮らしプロジェクト

(iii) これからの医療プロジェクト

旭化成グループ理念
世界の人びとの
“いのち”と”暮らし”に貢献
との合致

既存医薬・医療事業との
シナジーによる拡大

**クリティカルケア
(救命救急)**

医療政策に
左右されにくい
安定事業

グローバルに
継続的に
拡大する市場

ゾール・メディカル社の概要

AsahiKASEI

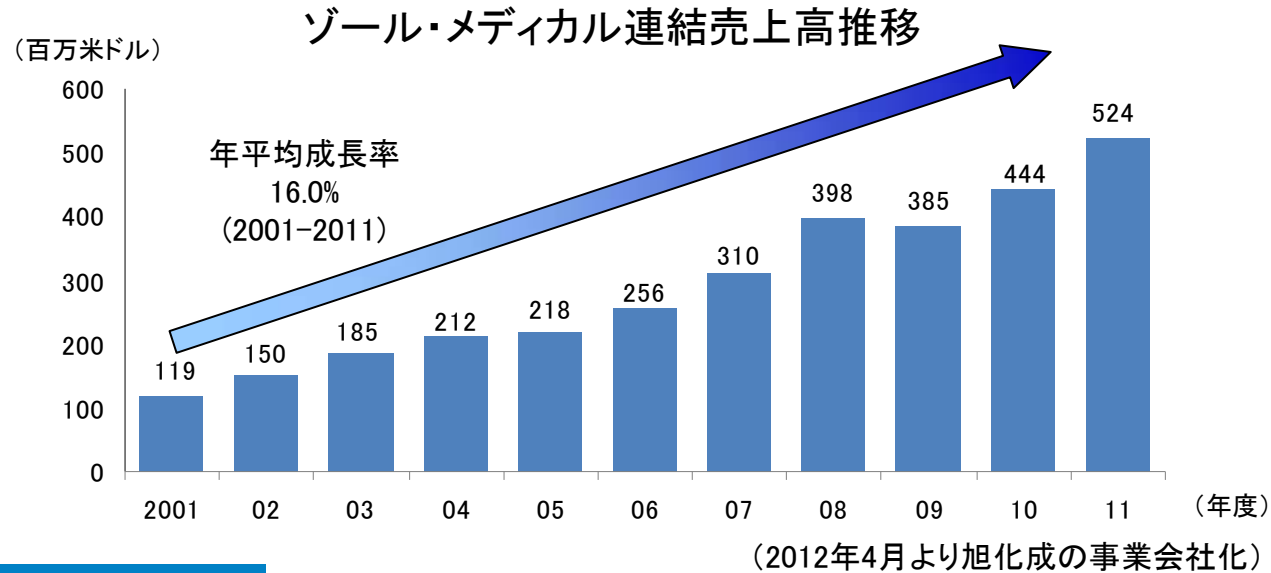
ZOLL®

会社名	ZOLL Medical Corporation (ゾール・メディカル)
設立	1980年
拠点	本社: マサチューセッツ州チェルムスフォード 拠点: ピッツバーグ、サニーベール、ブルームフィールドなど
事業概要	生命蘇生技術をコアテクノロジーとする、救命救急領域にフォーカスした医療機器メーカー
従業員数	1,908人(2011年10月2日現在)
当社との関わり	<ul style="list-style-type: none">・2011年8月、事業提携により当社がゾール・メディカル社製AED(自動体外式除細動器)「ZOLL AED Plus™」の日本での販売を開始・その後、両社マネジメント間で交流を深め、当社の経営戦略に合致すると判断、2012年4月に買収・事業会社化に至る



ゾール・メディカル社の主な事業

AsahiKASEI



主な製品群



医療機関・
救急機関向け
除細動器*

プロ市場で
高い定評
北米で40%
シェア



LifeVest™
着用型自動除細動器*

世界唯一の
革新的
医療機器



AED
自動体外式
除細動器



Thermogard™
体温マネージメント
機器

血管内冷却法
で強固な地位



AutoPulse™
自動心肺蘇生
システム



RescueNet™
救急機関向け
IT基幹システム

米国最大手

*日本では未承認

LifeVest™* の成長力

AsahiKASEI

- ・着用型自動除細動器(着脱可能)
- ・のべ100,000名以上が使用
- ・アメリカでは心停止リスクがある患者数が年間30万人以上
 - ― 満たせていない患者ニーズには相当の余地がある
- ・ドイツなど欧州でも展開
- ・優れたサービスビジネスモデル
 - ― ZOLLが患者にLifeVest™をレンタルし、医療サービスを提供、ZOLLは保険機関から保険償還を受ける(平均着用期間2ヶ月)
- ・ユニークな技術であり、薬事承認された唯一の着用式除細動器

* 日本では未承認



クリティカルケア事業の展開

AsahiKASEI

ZOLL

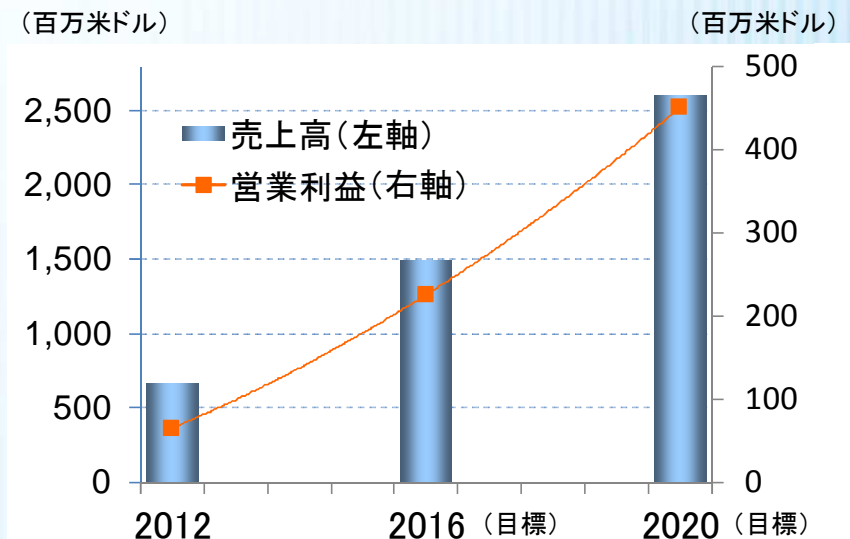
- ・世界の医療市場に圧倒的な影響力を持つ
アメリカで高い評価とブランド
- ・世界的権威であるFDA(米国食品医薬品局)
からの認証取得の豊富な経験
- ・クリティカルケア分野での幅広い製品ポート
フォリオと製品化実績

AsahiKASEI

- ・既存の医薬・医療事業で得たマーケティング、
製品開発力
- ・日本の薬事等法令や医療保険制度への対応力
- ・アジアのマーケット情報
- ・拡大投資・資源投入力
- ・マネジメントサポート

クリティカルケア事業の展開加速

- ・蘇生関連事業で世界No.1へ
- ・新製品上市
- ・米国以外へもシェア拡大し
グローバルリーディング事業へ

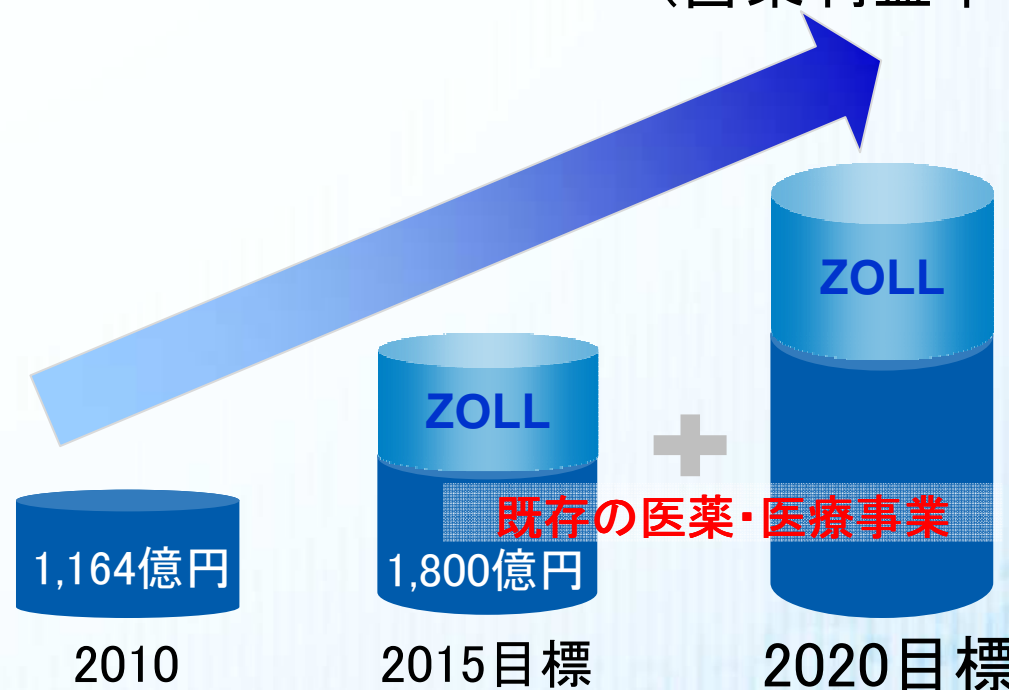


ヘルスケア事業をケミカル・住宅と並ぶ太い支柱に **AsahiKASEI**

既存の医薬・医療事業にクリティカルケア事業を付加

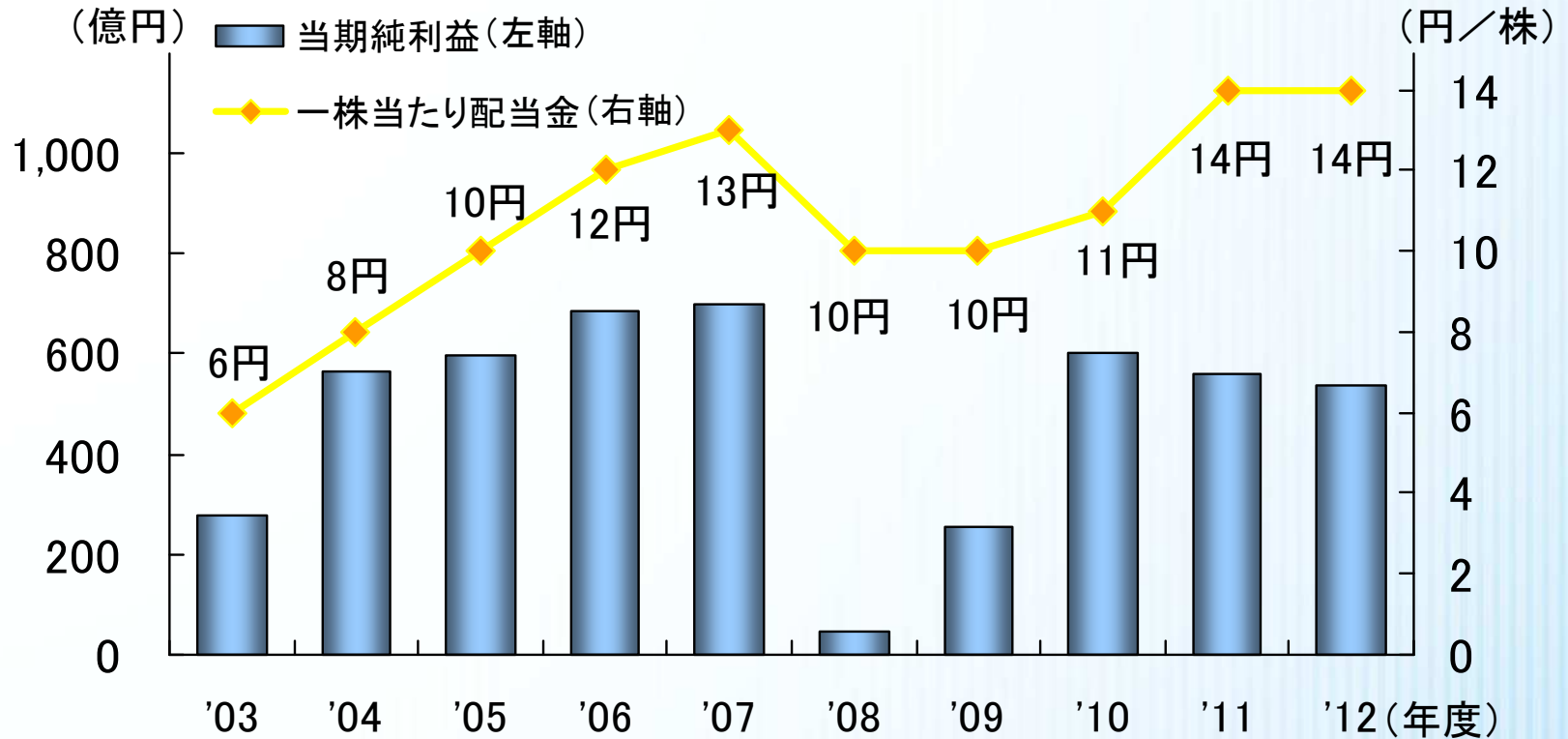
ヘルスケア事業 売上高

売上合計
5,000億円規模
(営業利益率15%)



5. 株主還元の方

配当性向3割を目安とした配当



配当性向	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12
	30.6%	19.9%	23.6%	24.5%	26.0%	295.0%	55.3%	25.5%	35.1%	36.4%

社会の変化を先取りし、「健康で快適な生活」「環境との共生」の視点で
 “昨日まで世界になかった”価値を提供し、継続的に企業価値を向上

→配当性向3割を目安に、継続的な増配を目指す

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、
より豊かな“くらし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、

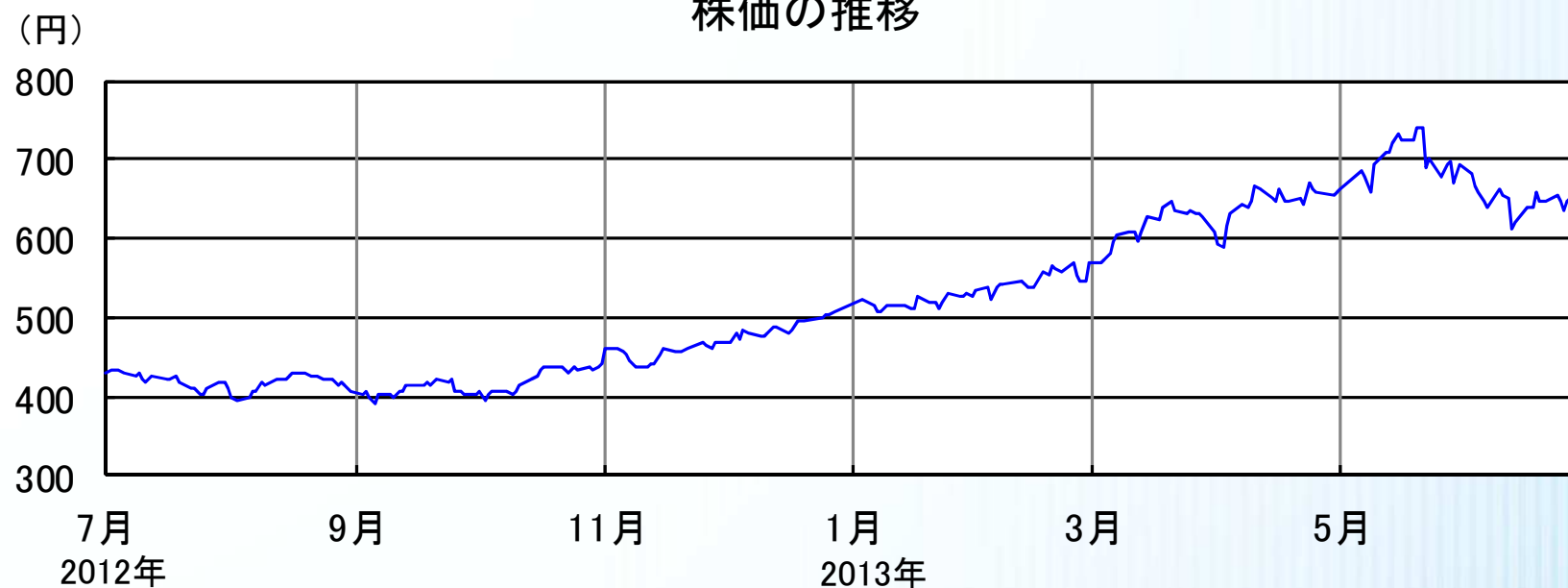
次の時代へ大胆に応えていくために——。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

参考資料

株式関連情報

株価の推移



発行済み株式総数
1,402,616,332株
単元株式数
1,000株

1株当たり当期純利益 (EPS)	38.43円
1株当たり年間配当金	14円
配当性向	36.4%
1株当たり純資産 (BPS)	581.05円

(2012年度実績ベース)

連結貸借対照表(要旨)*1

AsahiKASEI

(億円)

	12/3月末	13/3月末	増減		12/3月末	13/3月末	増減
流動資産	7,218	8,195	977	負債	6,913	9,757	2,844
現金及び預金	1,029	1,095	66	流動負債	4,496	6,029	1,533
受取手形及び売掛金	2,661	3,062	402	固定負債	2,417	3,729	1,312
棚卸資産	2,792	3,097	305	純資産	7,193	8,245	1,052
その他	736	941	204	株主資本	6,968	7,339	371
固定資産	6,888	9,807	2,919	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,161	4,616	455	資本剰余金	794	794	-0
無形固定資産	452	2,554	2,102	利益剰余金	5,164	5,536	372
投資その他の資産	2,275	2,637	362	自己株式	-24	-24	-0
				その他の包括利益累計額	100	782	681
				少数株主持分	124	124	-1
資産合計	14,106	18,002	3,896	負債純資産合計	14,106	18,002	3,896

*1 2013年3月末時点のZOLL Medical社等の新規連結及び買収に係る所要資金調達に伴う連結貸借対照表への影響額:総資産 2,403億円
 主な内訳:無形固定資産 1,981億円(内、のれん 1,258億円)、負債(有利子負債) 1,878億円 他

連結損益計算書(要旨)

AsahiKASEI

(上段:百分率、% 下段:金額、億円)

	11年度	12年度	増減額	増減率
売上高	100.0% 15,732	100.0% 16,666	934	5.9%
売上原価	74.9% 11,790	74.4% 12,395	605	5.1%
売上総利益	25.1% 3,943	25.6% 4,272	329	8.4%
販管費	18.4% 2,900	20.1% 3,352	452	15.6%
営業利益	6.6% 1,043	5.5% 920	-123	-11.8%
営業外損益	33	32	-1	
(内、金融収支)	(14)	(8)	(-6)	
(内、持分法投資損益)	(7)	(-2)	(-8)	
(内、為替差損益)	(-2)	(43)	(44)	
経常利益	6.8% 1,076	5.7% 951	-124	-11.6%
特別損益	-127	-128	-1	
税前利益	6.0% 949	4.9% 823	-126	-13.2%
法人税等	-380	-284	96	
少数株主損益	-11	-2	9	
当期純利益	3.5% 558	3.2% 537	-21	-3.7%

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

AsahiKASEI

(億円)

	11年度	12年度
営業活動によるキャッシュ・フロー①	1,413	1,260
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-895	-2,785
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	518	-1,525
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-910	1,662
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	-8	-9
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	-401	129

現金及び現金同等物の期首残高⑦	1,344	964
連結の範囲の変更に伴う増加額⑧	15	1
関係会社の報告期間変更に伴う増減額⑨	5	-53
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧+⑨)	964	1,040

2013年度業績予想

AsahiKASEI

(億円)

	11年度	12年度			13年度(予)			増減 b-a
		上	下	計a	上	下	計b	
売上高	15,732	7,875	8,791	16,666	9,120	9,790	18,910	2,244
営業利益	1,043	383	537	920	590	710	1,300	380
経常利益	1,076	359	593	951	575	725	1,300	349
当期純利益	558	206	331	537	325	445	770	233

ナフサ価格(国産ナフサ¥/kl)	54,925	55,200	59,800	57,500	62,000	62,000	62,000	4,500
為替レート(相場平均 ¥/\$)	79	79	87	83	95	95	95	12

	11年度	12年度	13年度
1株当たり年間配当金	14円	14円	14円 (予定)
配当性向	35.1%	36.4%	25.4%

セグメント別売上高*1

AsahiKASEI

(億円)

	2009	2010	2011	2012	2013 予想
ケミカル	5,807	6,998	6,801	6,846	8,000
住宅	3,897	4,092	4,520	4,862	5,260
医療・医薬	1,132	1,164	1,195	1,335	1,450
繊維	1,012	1,088	1,108	1,096	1,200
エレクトロニクス	1,427	1,583	1,461	1,311	1,450
建材	470	474	461	515	590
クリティカルケア*2	-	-	-	521	770
その他	176	160	186	180	190
合 計	13,922	15,559	15,732	16,666	18,910

*1 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡ってケミカルの売上高から同取引相当額を控除している。

*2 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

セグメント別営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	2009	2010	2011	2012	2013 予想
ケミカル	261	644	445	229	430
住宅	253	365	463	543	600
医療・医薬	40	70	88	159	205
繊維	-28	42	31	40	70
エレクトロニクス	72	143	64	28	100
建材	12	21	18	40	55
クリティカルケア* ¹	-	-	-	-37	-40
その他	18	17	30	22	15
消去又は全社	-53	-72	-97	-105	-135
合 計	576	1,229	1,043	920	1,300

*1 2012年度より「クリティカルケア」セグメントを新設し、ZOLL Medical社の業績等については同セグメントにて開示する。

中期経営計画の事業領域別計数計画

AsahiKASEI

(億円)

	売上高				営業利益				営業利益 構成割合	
	2010	2011	2015*1	対2010	2010	2011	2015*1	対2010	'10	'15
ケミカル・繊維*2	8,086	7,909	8,800	+714	686	476	750	+64	56%	38%
住宅・建材	4,566	4,981	5,700	+1,134	386	481	500	+114	31%	25%
エレクトロニクス	1,583	1,461	2,500	+917	143	64	400	+257	12%	20%
医薬・医療	1,164	1,195	1,800	+636	70	88	250	+180	6%	13%
その他・調整	160	186	200	+40	-55	-67	-50	+5	-4%	-3%
小計	15,559	15,732	19,000	+3,440	1,229	1,043	1,850	+621		
これからプロジェクト			1,000	+1,000			150	+150		8%
					(2020年) 約3,000				(2020年) 約500	
合計	15,559	15,732	20,000	+4,440	1,229	1,043	2,000	+771		

*1 中期経営計画策定時(2011年5月)の計画。

*2 2011年度第4四半期よりナフサ転売取引の会計方針を変更し、過去に遡ってケミカルの売上高から同取引相当額を控除している。
(ナフサ転売の取引額: 2010年度 424億円、2011年度 397億円)

ケミカルの主な製品

基礎・モノマー系		ポリマー・エラストマー系		高付加価値系	
基礎原料	苛性ソーダ・塩素	汎用 ポリマー	ポリエチレン	膜	マイクロザ™(大量水処理用ろ過膜(MF、UF))
	硝酸		ABS・AS樹脂		イオン交換膜及び装置
モノマー		機能樹脂・ コンパウンド	MMAペレット・シート	機能化学品	デュラネート™(HDI系ポリイソシアネート)
			合成ゴム・エラストマー		アルミペースト
	アクリロニトリル		テナック™(ポリアセタール樹脂)	添加剤	SBラテックス
	スチレンモノマー		ザイロン™(変性PPE樹脂)		セオラス™(結晶セルロース)
	MMAモノマー		レオナ™(ナイロン66樹脂)		火薬
シクロヘキサノール		消費材	サランラップ™		
アジピン酸			パッケージング材料		
売上高 構成比	75%			売上高 構成比	25%

* 売上高構成比は2012年度実績をベースに計算。

ケミカル製品の市場ポジション

2012.3.31現在

分野	製品	当社のポジション
汎用石油 化学製品	アクリロニトリル	世界No.2メーカー シェア19%
	スチレンモノマー	国内生産能力No.1
	MMAモノマー	現ポジションは高くないが、自社技術で コスト競争力ある直メタプロセスを採用
	アジピン酸	アジアトップグループ
膜	マイクロザ™(大量水処理用ろ過膜(MF、UF))	世界トップグループ 22%シェア(累積ベース)
	イオン交換膜(食塩電解)	世界No.1 45%シェア
	イオン交換膜法食塩電解プラント	世界No.1 30%シェア(累積ベース)
機能化学品	デュラネート™(HDI系ポリイソシアネート)	国内No.1
	サララテックス	世界No.2 20%シェア
添加剤	セオラス™(結晶セルロース)	国内No.1 世界No.3

(注)シェアは当社推定(汎用石油化学製品のシェアは生産能力シェア)

繊維の主な製品

- ✓ 再生セルロース繊維「ベンベルグ™」(キュプラ)
 - 世界唯一のメーカー
 - 国内裏地用途から他用途・海外向けに展開、拡大
- ✓ 高機能スパンデックス「ロイカ™」
 - 高機能・高品質ブランドをグローバルに展開
(生産拠点: 日本、台湾、中国、タイ、ドイツ)
- ✓ 多様な品揃えを持つ不織布
 - ナイロン・ポリエステル・ポリプロピレン・キュプラの
4素材を展開
 - タイ工場新設による衛生材料用途(紙オムツ等)拡大
- ✓ 強度・耐熱性に優れたナイロン66繊維「レオナ™」
 - タイヤコード用途に加え、エアバッグ用途を拡大



建材の主な製品

✓ 軽量気泡コンクリート「ヘーベル™」

- ALC(軽量気泡コンクリート)国内No.1
- 耐火性、断熱性に優れ、軽量かつ高耐久の建材



✓ 断熱材「ネオマ™フォーム」、「Jupii™」

- 世界トップレベルの高い断熱性能を長期間維持
- 環境にやさしいゼロフロン断熱材
- 炎をあてても燃え広がらず炭化するだけの高い耐燃焼性能
- 生産能力の増強(2014年4月稼働開始予定)



✓ 基礎杭「EAZET™」・「ATTコラム™」・「DYNAWING™」

- 低騒音・低振動・低排土など環境重視型の杭工法
- 高い現場適応力と信頼性で建築分野、土木分野に展開



エレクトロニクスの主な製品

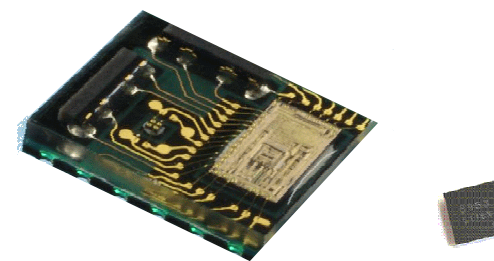
領域	製品	業界ポジション
電子部品	LSI	ミクスドシグナルLSIの以下の製品群で世界No.1 (TCXO*向けLSI、電子コンパス)
	ホール素子(磁気センサ)	世界No.1 70%シェア
電子材料	ハイポア™(リチウムイオン二次電池用セパレータ)	世界No.1
	感光性ドライフィルムレジスト	世界トップ3 30%シェア
	ガラスクロス	超極薄ガラスクロス:世界No.1
	パイメル™(半導体用バッファークोट)	感光性タイプ:世界No.1
	ペリクル(フォトマスク用防塵フィルム)	世界トップ3 液晶パネル用:世界No.1
	APR™(液状感光性樹脂)、AFP™(固体状感光性樹脂)	APR™:世界No.2

* 温度補償型水晶発振器

電子コンパス(方位角センサ)

✓ 世界No.1シェア

- 歩行ナビゲーション用のキーデバイスとして世界の主要スマートフォンメーカーに採用
- 市場の立ち上がりいち早く対応し、業界標準デバイスとしての地位を確立
 - スマートフォン・タブレットPC市場の成長とともに事業規模を拡大



2004年 発売品
「AK8970」
5.9 × 6.3 × 1.0mm



2012年 発売品
「AK8963C」
1.6 × 1.6 × 0.5mm

1チップ化により大幅な小型化を実現

✓ 当社製品の強み

- 3軸地磁気センサを半導体プロセスにより1枚のシリコン基板上に構成
 - 世界最小サイズの実現
- 地磁気測定の障害となる携帯電話内の磁気を測定し、自動的に補正を行うソフトウェアを他社に先駆けて開発、ハードウェアと一体で提供

✓ 2012年度全国発明表彰「恩賜発明賞」を受賞

- 当社の「電子コンパスの自動調整技術」がスマートフォン市場の拡大に貢献



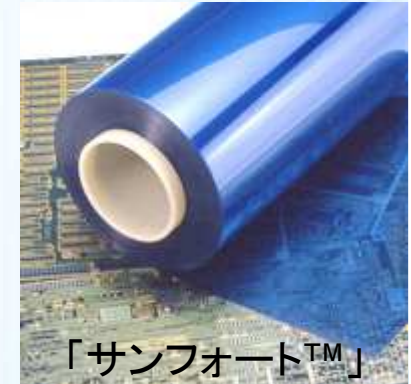
歩行ナビ画面イメージ
(NAVITIME提供)

スマートフォンでの旭化成の電子部品使用例



✓ **プリント配線板用感光性ドライフィルムレジスト「サンフォート™」**

- 世界トップ3の1社、シェア30%
- 中国で2拠点目となる新工場建設
(2013年9月稼働開始予定)



✓ **超極薄ガラスクロス**

- 世界No.1
- 薄型電子機器用配線基板材料等に使用



✓ **半導体用バッファークोट材「パイメル™」**

- 感光性タイプ: 世界No.1、アルカリ型での市場拡大

✓ **フォトマスク用防じんフィルム、ペリクル**

- 世界トップ3の1社、大型液晶ディスプレイ用ではほぼ独占
- 第10世代(超大型ディスプレイ)対応ライン保有



主な医薬品

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型
テリボン™	テリパラチド 酢酸塩	骨粗鬆症治療剤 (副甲状腺ホルモン: PTH)	骨折の危険性の高い 骨粗鬆症	注射剤
フリバス™	ナフトピジル	α1ブロッカー	前立腺肥大症に伴う 排尿障害	錠剤
エルシトニン™注 20S エルシトニン™注 20Sディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤
リコモジュリン™	トロンボモデュリン アル ファ(遺伝子組換え)	血液凝固阻止剤	DIC(汎発性血管内血液 凝固症)	注射剤
ブレディニン™	ミゾリビン	免疫抑制剤	関節リウマチ、腎移植、ネ フローゼ症候群、ループ ス腎炎	錠剤

医薬品の研究開発状況

		開発コード・剤型 (一般名)	区分	薬効・分類	適応症	自社/導入	備考
国内	承認	AK-120錠 (ファミシクロビル)	適応拡大	抗ヘルペスウィルス剤	単純疱疹	導入	
	フェーズⅢ の品目	AK-156注 (ゾレドロン酸水和物)	新効能・新用量 医薬品	骨吸収抑制剤 (ビスフォスフォネート)	骨粗しょう症	導入	年1回 投与
		AK-160注	新成分新薬	細菌由来の コラゲナーゼ製剤	デュピュイトラン 拘縮	導入	
	フェーズⅡ の品目	AT-877錠 (ファスジル塩酸塩水和物)	適応拡大 剤型追加	ローキナーゼ阻害剤	肺高血圧症	自社	
		HC-58注 (エルカトニン)	適応拡大	カルシトニン製剤	肩手症候群	自社	
	海外	フェーズⅢ の品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新成分新薬	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う 重症敗血症	自社
フェーズⅡ の品目		AK106	新成分新薬	抗炎症剤	関節リウマチ	自社	

探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科領域や泌尿器領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

ゾール・メディカル社の除細動器事業

世界全体では3強の一角を占め、米国でのブランドを基に
グローバルな市場浸透を期待できる

世界除細動器市場は15億米ドル

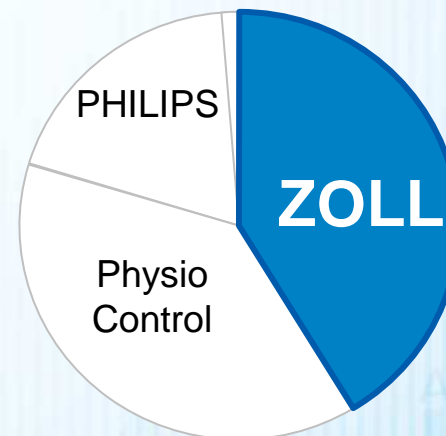
ゾールは米国プロ向け市場で最大手ポジション

全世界の除細動器市場(金額ベース)

- ・米国市場は世界除細動器市場の3分の2を占める
- ・世界の医療技術をリードする米国で最大手



米国医療機関および救急機関の
プロ向け除細動器シェア

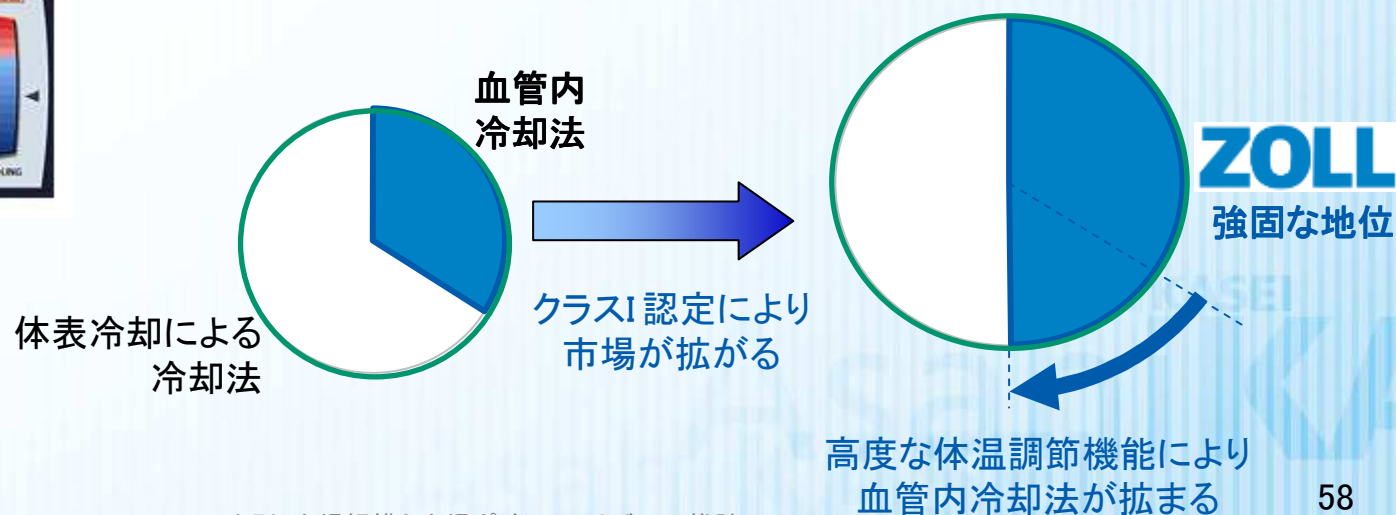


体温マネージメント機器「Thermogard™」 AsahiKASEI

拡がる市場、拡まる治療法の中で強固な地位



- ・体温制御(熱中症など)や、心肺蘇生後の体温冷却に用いられる
- ・将来的には心筋梗塞後や脳梗塞後の予後治療機器としての可能性を期待
- ・拡がる市場: 低体温療法がアメリカ心臓学会(AHA)ガイドラインにおいてクラスI(実効性証明済)として掲載
- ・拡まる治療法: Thermogard™は血管内にカテーテルを通して冷却する血管内冷却法であり、高速・高精度で体温調節可能(心肺蘇生後には必須)
- ・ゾールは血管内冷却法でのパイオニア—非常に強固な地位



CSRの取り組み

✓ コンプライアンスの徹底

- 企業倫理に関する方針・行動基準の制定

✓ レスポンジブル・ケアの推進

- 環境配慮評価*で最高評価の「AAA」(トリプルエー)を取得(2010年12月)
先進的な環境配慮経営を行う企業として、優遇金利で(株)三井住友銀行が融資

* (株)日本総合研究所(三井住友フィナンシャルグループ)独自の評価基準に基づく、企業の環境配慮状況の評価

✓ 社員の個の尊重

- ワークライフバランスの推進

厚生労働省より次世代育成支援に積極的な企業として、次世代認定マーク「くるみん」を取得(旭化成(株)他)(2007年、2010年)

- につけい子育て支援大賞受賞(2009年12月)

男性社員の育児休業取得促進を評価

(配偶者が出産した男性社員の40%が育児休業制度を利用)

✓ 社会との共生

- 第60回日経広告賞IR広告賞、素材・エネルギー・産業機器部門賞(2011年)

- 出前授業(講師派遣事業)の展開

小・中学生に科学技術への関心と理解を深めてもらうために実施



ホームページのご案内

AsahiKASEI

＜株主・投資家情報のページをご活用ください＞

社長による個人投資家説明会の様子(動画)、決算のポイント、IRニュース、その他各種データ・資料などがご覧いただけます。

<http://www.asahi-kasei.co.jp/asahi/jp/ir/>

The screenshot shows the AsahiKASEI website's investor information page. At the top, there is a navigation bar with the AsahiKASEI logo and the tagline "昨日まで世界になかったものを。". The navigation menu includes "企業情報", "事業・製品", "研究・開発", "株主・投資家情報", "CSR", and "ニュース". The "株主・投資家情報" section is highlighted. Below the navigation, there is a sidebar with a list of links: "経営方針", "財務・業績", "個人投資家のみなさまへ", "IR資料室", and "株式・社債情報". The main content area features three featured articles: "旭化成の成長戦略" (Asahi Kasei's Growth Strategy) with a video link, "For Tomorrow 2015 旭化成グループ中期経営計画" (Asahi Kasei Group Medium-term Business Plan) with a link to the plan, and "2013年3月期(第122期)決算発表" (2013 Q3 (122nd) Earnings Release) with a link to the earnings release.

旭化成 投資家情報

検索

